

# 令和6年 栃木県内における死亡労働災害発生状況

令和6年5月末日現在

栃木労働局

番号	発生年月	事故の型	業種	災害の概要
	時間帯	起因物	事業場規模	
1	令和6年2月	墜落、転落	その他の建築工 事業	私宅敷地内に併設された納屋において、当該納屋のスレート屋根上で、踏み抜き防止措置を講じぬまま当該スレート屋根の補強屋根葺きをしていたところ、当該スレート屋根を踏み抜き、死亡したものの。
	14～15時	屋根、はり、もや、けた、合掌	1～9人	
2	令和6年2月	はさまれ、巻き込まれ	産業廃棄物処理業	被災者の同僚がインカムを用いて、被災者らに対し、コンベア作業の試運転開始の合図を行い、試運転を開始した数分後、何らかの理由で被災者が当該コンベアに巻き込まれて死亡したものの。
	6～7時	コンベア	20～29人	
3	令和6年3月	墜落、転落	と畜業	家畜の糞尿等を微生物分解するための浄化槽において、上部に設けられているマンホールを開けて水位を確認しようとしたところ、槽内に墜落し、死亡したものの。
	9～10時	建築物、構築物	150～199人	
4	令和6年4月	飛来、落下	特定貨物自動車 運送業	高層ビル向け鉄骨梁材(長さ約12m・高さ約1m・重さ約4.0t)をトレーラートラックの荷台に橋形クレーンを使用し積み込み、荷台上で被災者が吊り具を外し荷台への固定作業の準備をしていたところ、被災者に向かって梁材が倒れてきたため地上に飛び降りたものの、被災者が当該梁材の下敷きとなり死亡したものの。
	9～10時	荷姿の物	10～19人	
5	令和6年5月	墜落、転落	クリーニング業	設備の不具合を把握したため、吹き抜けとなっている2階部に設置された作業床(高さ:約4.5m)を用いて復旧対応中、何らかの理由により作業床から落下し、床面に頭部を強打して死亡したものの。
	8～9時	作業床、歩み板	100～149人	
6	令和6年5月	交通事故(道路)	一般貨物自動車 運送業	荷物の運搬を終え、帰社するためトラックで高速道路を走行中、渋滞最後尾で徐行運転を行っていたトラックに高速走行のまま追突し、死亡したものの。
	14～15時	トラック	10～19人	

